

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ブラジル・ボンド・マザーファンドの受益証券
	ブラジル・ボンド・マザーファンド	ブラジル・リアル建債券
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、ブラジル・リアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②投資にあたっては、以下のような点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。</p> <p>イ. 金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>ロ. 固定利付債および割引債の組入比率の合計を、信託財産の純資産総額の50%程度以上とします。</p> <p>ハ. 投資する債券は、政府、政府関係機関、国際機関等が発行するものとします。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、イタウ・ユニバンコ銀行の運用部門であるイタウ・アセットマネジメントの助言を受けます。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	毎月決算型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
	年2回決算型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ブラジル・ボンド・オープン （毎月決算型／年2回決算型）

運用報告書（全体版）

毎月決算型	第78期（決算日 2015年 5月25日）
	第79期（決算日 2015年 6月25日）
	第80期（決算日 2015年 7月27日）
	第81期（決算日 2015年 8月25日）
	第82期（決算日 2015年 9月25日）
	第83期（決算日 2015年10月26日）
年2回決算型	第14期（決算日 2015年10月26日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ブラジル・ボンド・オープン（毎月決算型／年2回決算型）」は、さる10月26日に決算を行ないました。

ここに、当作成期間中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<3108>

<3109>

★ブラジル・ボンド・オープン (毎月決算型)

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			J Pモルガン GB I-E M ブロード・ブラジル (円換算)		公 社 債 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率		
	円	円	%		%	%	百万円
54期末(2013年 5 月27日)	9,387	120	△ 1.1	23,452	△ 1.1	97.1	667,456
55期末(2013年 6 月25日)	8,021	120	△13.3	20,233	△13.7	96.4	577,152
56期末(2013年 7 月25日)	8,189	120	3.6	21,106	4.3	98.8	593,072
57期末(2013年 8 月26日)	7,481	120	△ 7.2	19,523	△ 7.5	98.7	547,001
58期末(2013年 9 月25日)	7,935	120	7.7	21,210	8.6	97.7	584,643
59期末(2013年10月25日)	7,697	120	△ 1.5	20,921	△ 1.4	98.2	570,077
60期末(2013年11月25日)	7,618	90	0.1	20,893	△ 0.1	97.9	570,352
61期末(2013年12月25日)	7,507	90	△ 0.3	20,855	△ 0.2	97.2	519,368
62期末(2014年 1 月27日)	7,167	90	△ 3.3	20,212	△ 3.1	98.6	488,042
63期末(2014年 2 月25日)	7,366	90	4.0	21,161	4.7	97.9	488,458
64期末(2014年 3 月25日)	7,302	90	0.4	21,268	0.5	98.5	464,229
65期末(2014年 4 月25日)	7,716	90	6.9	22,832	7.4	98.5	461,020
66期末(2014年 5 月26日)	7,703	90	1.0	23,037	0.9	98.0	441,276
67期末(2014年 6 月25日)	7,707	90	1.2	23,405	1.6	98.7	410,615
68期末(2014年 7 月25日)	7,739	90	1.6	23,765	1.5	98.6	388,287
69期末(2014年 8 月25日)	7,705	90	0.7	23,863	0.4	99.1	373,474
70期末(2014年 9 月25日)	7,683	90	0.9	23,984	0.5	99.4	354,013
71期末(2014年10月27日)	7,227	90	△ 4.8	22,893	△ 4.5	99.0	327,776
72期末(2014年11月25日)	7,662	90	7.3	24,534	7.2	98.7	338,693
73期末(2014年12月25日)	7,249	90	△ 4.2	23,513	△ 4.2	96.1	312,930
74期末(2015年 1 月26日)	7,459	90	4.1	24,719	5.1	98.5	318,165
75期末(2015年 2 月25日)	6,772	90	△ 8.0	22,515	△ 8.9	99.3	283,433
76期末(2015年 3 月25日)	6,089	90	△ 8.8	20,442	△ 9.2	99.1	248,659
77期末(2015年 4 月27日)	6,459	60	7.1	21,950	7.4	98.2	264,822
78期末(2015年 5 月25日)	6,345	60	△ 0.8	21,833	△ 0.5	98.7	253,606
79期末(2015年 6 月25日)	6,433	60	2.3	22,173	1.6	98.5	249,507
80期末(2015年 7 月27日)	5,884	60	△ 7.6	20,507	△ 7.5	98.7	223,974
81期末(2015年 8 月25日)	5,291	60	△ 9.1	18,424	△10.2	99.7	197,177
82期末(2015年 9 月25日)	4,685	60	△10.3	16,169	△12.2	99.3	169,558
83期末(2015年10月26日)	4,857	40	4.5	16,800	3.9	99.1	172,404

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) J Pモルガン GB I-E M ブロード・ブラジル (円換算) は、J Pモルガン GB I-E M ブロード・ブラジル (ブラジル・リアルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン GB I-E M ブロード・ブラジル (ブラジル・リアルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

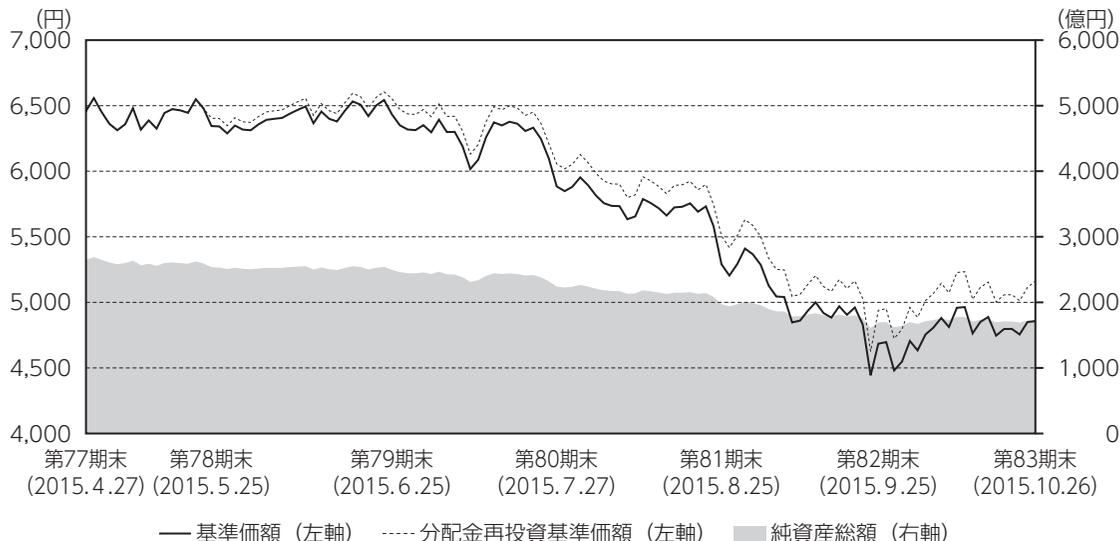
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■ 基準価額・騰落率

第78期首：6,459円

第83期末：4,857円（既払分配金340円）

騰落率：△20.1%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

ブラジル・リアル建ての債券に投資した結果、債券価格が下落したことや為替相場が下落したことが要因となり、基準価額は値下がりしました。一方、債券の利息収入は安定的に基準価額の値上がり要因となりました。

ブラジル・ボンド・オープン（毎月決算型）

	年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン G B I - E M ブロード・ブラジル (円換算)		公 社 債 組 入 比 率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
第78期	(期首) 2015年 4月27日	円 6,459	% -	21,950	% -	% 98.2
	4月末	6,452	△ 0.1	21,970	0.1	98.0
	(期末) 2015年 5月25日	6,405	△ 0.8	21,833	△ 0.5	98.7
第79期	(期首) 2015年 5月25日	6,345	-	21,833	-	98.7
	5月末	6,317	△ 0.4	21,731	△ 0.5	98.7
	(期末) 2015年 6月25日	6,493	2.3	22,173	1.6	98.5
第80期	(期首) 2015年 6月25日	6,433	-	22,173	-	98.5
	6月末	6,314	△ 1.8	21,763	△ 1.8	98.6
	(期末) 2015年 7月27日	5,944	△ 7.6	20,507	△ 7.5	98.7
第81期	(期首) 2015年 7月27日	5,884	-	20,507	-	98.7
	7月末	5,893	0.2	20,616	0.5	98.7
	(期末) 2015年 8月25日	5,351	△ 9.1	18,424	△10.2	99.7
第82期	(期首) 2015年 8月25日	5,291	-	18,424	-	99.7
	8月末	5,367	1.4	18,763	1.8	99.3
	(期末) 2015年 9月25日	4,745	△10.3	16,169	△12.2	99.3
第83期	(期首) 2015年 9月25日	4,685	-	16,169	-	99.3
	9月末	4,549	△ 2.9	15,642	△ 3.3	99.4
	(期末) 2015年10月26日	4,897	4.5	16,800	3.9	99.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について**○ブラジル債券市況**

ブラジル債券の金利は上昇（債券価格は下落）しました。2014年10月に、ブラジル中央銀行は金融政策委員会（Copom）において、インフレ懸念から政策金利の引上げを決定しましたが、その後も電力料金や公共交通機関の値上げやブラジル・レアルなどによりインフレ率の高止まりが続いたため、継続的に追加利上げを実施し、金利上昇要因となりました。また2015年1月以降は、財政再建法案が議会の反発を受け法案の成立が難航すると懸念されたことや大手石油会社ペトロブラスの汚職問題が金利上昇要因となりました。8月以降は、景気低迷が続く中で税収が想定以上に落ち込んだため基礎的財政収支の黒字目標値が下方修正されたことや、政府と議会との対立により追加増税法案の成立が遅延したことから財政懸念が高まり、金利上昇要因となりました。また、大手格付会社が相次いでブラジルの国債格付けを引下げたことも金利上昇要因となりました。

○為替相場

ブラジル・レアルは対円で下落しました。国内要因では、ペトロブラスをめぐる汚職事件が発覚し、検察当局の捜査対象が民間から政界へ波及する中、投資家心理が後退しました。また、中央銀行の利上げにもかかわらずインフレ率の高止まりが続く、景気低迷の継続が懸念されたほか、財政再建に対する不信感から格付けが引下げられたことも下落圧力となりました。国外要因では、米国の金融政策正常化に伴う新興国からの資本流出懸念や主要輸出相手国である中国経済の低迷などがレアルの下落圧力となりました。レアルの対米ドルレートは、2015年9月に1米ドル＝4レアルを割り込み急速に下落しました。年初より政府・中央銀行が為替介入規模を縮小していましたが、中央銀行はレアルの買い介入規模を拡大し、レアルを下支えしました。

前作成期間末における「今後の運用方針」**○当ファンド**

「ブラジル・ボンド・マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・レアル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

○ブラジル・ボンド・マザーファンド

ブラジル国債の利回りは他の新興国に比べて高水準にあり、長期保有に適した魅力的な投資対象です。財政再建への取り組みは中長期的にブラジル債券の好材料であり、ブラジル・レアルの信認も高めると期待されます。当ファンドは金利リスクやインフレリスクに留意しながら、種別構成にも柔軟に調整しつつ、引続き投資妙味の高いブラジル国債を高位に組み入れて運用します。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「ブラジル・ボンド・マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・レアル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

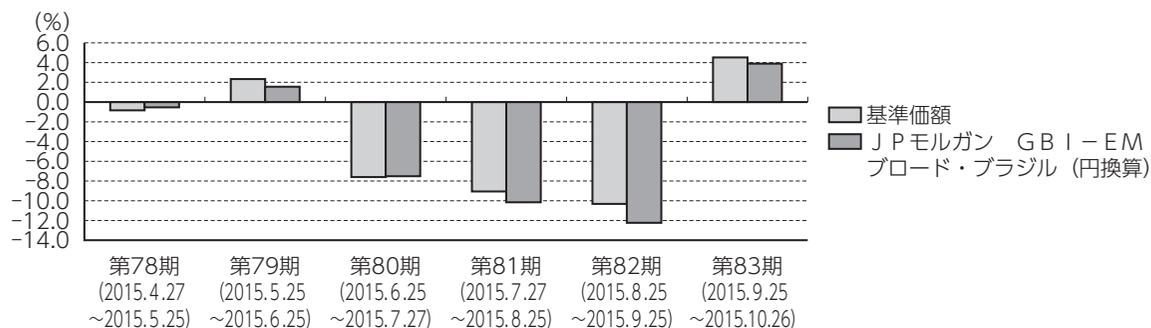
○ブラジル・ボンド・マザーファンド

債券ポートフォリオは、名目債（一般に割引債と利付債をいいます。）と物価連動債の双方からなるブラジル国債ポートフォリオで運用しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はブラジル債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

1万口当り分配金（税込み）は、第78期～第82期はそれぞれ60円、第83期は40円といたしました。収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
	2015年4月28日 ～2015年5月25日	2015年5月26日 ～2015年6月25日	2015年6月26日 ～2015年7月27日	2015年7月28日 ～2015年8月25日	2015年8月26日 ～2015年9月25日	2015年9月26日 ～2015年10月26日
当期分配金（税込み）（円）	60	60	60	60	60	40
対基準価額比率（％）	0.94	0.92	1.01	1.12	1.26	0.82
当期の収益（円）	38	47	39	32	38	40
当期の収益以外（円）	21	12	20	27	21	－
翌期繰越分配対象額（円）	164	152	131	105	83	87

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
(a) 経費控除後の配当等収益	38.80円	47.30円	39.23円	32.95円	38.27円	43.97円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	185.75	165.12	152.72	132.21	105.35	83.72
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	224.55	212.43	191.96	165.17	143.62	127.70
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	164.55	152.43	131.96	105.17	83.62	87.70

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「ブラジル・ボンド・マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・リアル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

○ブラジル・ボンド・マザーファンド

主として、ブラジル・リアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションについては、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第78期～第83期		項 目 の 概 要
	(2015.4.28～2015.10.26)		
	金 額	比 率	
信託報酬	41円	0.713%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は5,768円です。
（投信会社）	(18)	(0.310)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(22)	(0.382)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	4	0.070	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(4)	(0.070)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	45	0.782	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年4月28日から2015年10月26日まで)

決算期	第78期～第83期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
ブラジル・ボンド・マザーファンド	56,190	106,306	27,036,815	47,347,748

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第78期～第83期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種類	第77期末	第83期末	
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
ブラジル・ボンド・マザーファンド	141,097,446	114,116,820	173,982,504

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年5月25日)、(2015年6月25日)、(2015年7月27日)、(2015年8月25日)、(2015年9月25日)、(2015年10月26日)現在

項目	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末	第82期末	第83期末
(A) 資産	257,382,315,544円	253,050,897,508円	227,048,423,821円	200,423,679,661円	172,579,685,960円	174,490,418,819円
コール・ローン等	299,260,830	261,818,484	107,251,355	183,696,244	270,530,588	102,271,968
ブラジル・ボンド・マザーファンド(評価額)	256,253,497,714	252,284,399,024	226,514,148,466	199,608,516,417	171,848,277,372	173,982,504,851
未収入金	829,557,000	504,680,000	427,024,000	631,467,000	460,878,000	405,642,000
(B) 負債	3,775,369,643	3,543,158,981	3,074,355,339	3,246,613,753	3,021,325,633	2,086,371,599
未払収益分配金	2,398,108,259	2,326,996,875	2,283,832,202	2,235,873,564	2,171,386,153	1,419,959,442
未払解約金	1,088,216,106	906,238,766	484,495,833	761,179,276	623,169,166	454,818,845
未払信託報酬	288,883,606	309,580,362	305,498,487	248,868,670	225,913,356	210,552,778
その他未払費用	161,672	342,978	528,817	692,243	856,958	1,040,534
(C) 純資産総額(A-B)	253,606,945,901	249,507,738,527	223,974,068,482	197,177,065,908	169,558,360,327	172,404,047,220
元本	399,684,709,979	387,832,812,636	380,638,700,364	372,645,594,109	361,897,692,267	354,989,860,659
次期繰越損益金	△146,077,764,078	△138,325,074,109	△156,664,631,882	△175,468,528,201	△192,339,331,940	△182,585,813,439
(D) 受益権総口数	399,684,709,979口	387,832,812,636口	380,638,700,364口	372,645,594,109口	361,897,692,267口	354,989,860,659口
1万口当り基準価額(C/D)	6,345円	6,433円	5,884円	5,291円	4,685円	4,857円

*第77期末における元本額は409,986,646,005円、当作成期間（第78期～第83期）中における追加設定元本額は24,545,610,632円、同解約元本額は79,542,395,978円です。

*第83期末の計算口数当りの純資産額は4,857円です。

*第83期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は182,585,813,439円です。

■投資信託財産の構成

2015年10月26日現在

項目	第83期	期末
	評価額	比率
	千円	%
ブラジル・ボンド・マザーファンド	173,982,504	99.7
コール・ローン等、その他	507,913	0.3
投資信託財産総額	174,490,418	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月26日における邦貨換算レートは、1ブラジル・レアル=31.25円です。

(注3) ブラジル・ボンド・マザーファンドにおいて、第83期末における外貨建純資産（175,673,238千円）の投資信託財産総額（176,009,237千円）に対する比率は、99.8%です。

ブラジル・ボンド・オープン（毎月決算型）

■ 損益の状況

第78期 自2015年4月28日 至2015年5月25日 第81期 自2015年7月28日 至2015年8月25日
 第79期 自2015年5月26日 至2015年6月25日 第82期 自2015年8月26日 至2015年9月25日
 第80期 自2015年6月26日 至2015年7月27日 第83期 自2015年9月26日 至2015年10月26日

項目	第 78 期	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期	第 83 期
(A) 配当等収益	59,757円	22,831円	18,536円	15,160円	13,987円	8,320円
受取利息	59,757	22,831	18,536	15,160	13,987	8,320
(B) 有価証券売買損益	△ 1,858,328,400	6,018,783,023	△ 18,275,164,990	△ 19,574,367,728	△ 19,481,480,979	7,708,495,646
売買益	94,556,260	6,146,775,723	132,012,438	154,038,920	360,612,565	7,800,147,311
売買損	△ 1,952,884,660	△ 127,992,700	△ 18,407,177,428	△ 19,728,406,648	△ 19,842,093,544	△ 91,651,665
(C) 信託報酬等	△ 289,045,278	△ 309,761,668	△ 305,684,326	△ 249,032,096	△ 226,078,071	△ 210,736,354
(D) 当期損益(A+B+C)	△ 2,147,313,921	5,709,044,186	△ 18,580,830,780	△ 19,823,384,664	△ 19,707,545,063	7,497,767,612
(E) 前期繰越損益金	△ 63,919,362,327	△ 64,574,591,950	△ 58,992,427,578	△ 76,602,995,981	△ 94,118,710,255	△ 112,472,588,878
(F) 追加信託差損益金	△ 77,612,979,571	△ 77,132,529,470	△ 76,807,541,322	△ 76,806,273,992	△ 76,341,690,469	△ 76,191,032,731
(配当等相当額)	(7,424,197,849)	(6,404,074,865)	(5,813,227,791)	(4,927,000,511)	(3,812,658,892)	(2,972,218,646)
(売買損益相当額)	(△ 85,037,177,420)	(△ 83,536,604,335)	(△ 82,620,769,113)	(△ 81,733,274,503)	(△ 80,154,349,361)	(△ 79,163,251,377)
(G) 合計(D + E + F)	△ 143,679,655,819	△ 135,998,077,234	△ 154,380,799,680	△ 173,232,654,637	△ 190,167,945,787	△ 181,165,853,997
(H) 収益分配金	△ 2,398,108,259	△ 2,326,996,875	△ 2,283,832,202	△ 2,235,873,564	△ 2,171,386,153	△ 1,419,959,442
次期繰越損益金(G+H)	△ 146,077,764,078	△ 138,325,074,109	△ 156,664,631,882	△ 175,468,528,201	△ 192,339,331,940	△ 182,585,813,439
追加信託差損益金	△ 78,460,189,236	△ 77,624,734,364	△ 77,597,811,355	△ 77,814,140,469	△ 77,127,888,034	△ 76,191,032,731
(配当等相当額)	(6,576,988,184)	(5,911,869,971)	(5,022,957,758)	(3,919,134,034)	(3,026,461,327)	(2,972,218,646)
(売買損益相当額)	(△ 85,037,177,420)	(△ 83,536,604,335)	(△ 82,620,769,113)	(△ 81,733,274,503)	(△ 80,154,349,361)	(△ 79,163,251,377)
分配準備積立金	-	-	-	-	-	141,227,224
繰越損益金	△ 67,617,574,842	△ 60,700,339,745	△ 79,066,820,527	△ 97,654,387,732	△ 115,211,443,906	△ 106,536,007,932

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■ 収益分配金の計算過程（総額）

項目	第 78 期	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期	第 83 期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,550,898,594円	1,834,791,981円	1,493,562,169円	1,228,007,087円	1,385,188,588円	1,561,186,666円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	7,424,197,849	6,404,074,865	5,813,227,791	4,927,000,511	3,812,658,892	2,972,218,646
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	8,975,096,443	8,238,866,846	7,306,789,960	6,155,007,598	5,197,847,480	4,533,405,312
(f) 分配金	2,398,108,259	2,326,996,875	2,283,832,202	2,235,873,564	2,171,386,153	1,419,959,442
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	6,576,988,184	5,911,869,971	5,022,957,758	3,919,134,034	3,026,461,327	3,113,445,870
(h) 受益権総口数	399,684,709,979□	387,832,812,636□	380,638,700,364□	372,645,594,109□	361,897,692,267□	354,989,860,659□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 78 期	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期	第 83 期
1 万口当り分配金	60円	60円	60円	60円	60円	40円
(単 価)	(6,345円)	(6,433円)	(5,884円)	(5,291円)	(4,685円)	(4,857円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《訂正のお知らせ》

作成対象期間の末日が2015年4月27日の交付運用報告書および運用報告書（全体版）につきまして、「1万口当りの費用の明細」の表の「項目の概要」における次の記載にて下線部が不要でした。お詫び申し上げますとともに、下線部を除いてお読み替えくださいますようお願い申し上げます。

「期中の平均基準価額（月末値の平均値）は6,972円です。」

★ブラジル・ボンド・オープン（年2回決算型）

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			J Pモルガン G B I - E M ブロード・ブラジル (円換算)		公 社 債 率 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率		
10期末(2013年10月25日)	円 16,492	円 10	% △12.5	20,921	% △11.8	% 97.6	百万円 2,567
11期末(2014年4月25日)	17,764	10	7.8	22,832	9.1	97.9	2,400
12期末(2014年10月27日)	17,834	10	0.5	22,893	0.3	98.3	2,044
13期末(2015年4月27日)	17,137	10	△ 3.9	21,950	△ 4.1	97.9	1,908
14期末(2015年10月26日)	13,678	10	△20.1	16,800	△23.5	98.5	1,531

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) J Pモルガン G B I - E M ブロード・ブラジル (円換算) は、J Pモルガン G B I - E M ブロード・ブラジル (ブラジル・リアルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン G B I - E M ブロード・ブラジル (ブラジル・リアルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

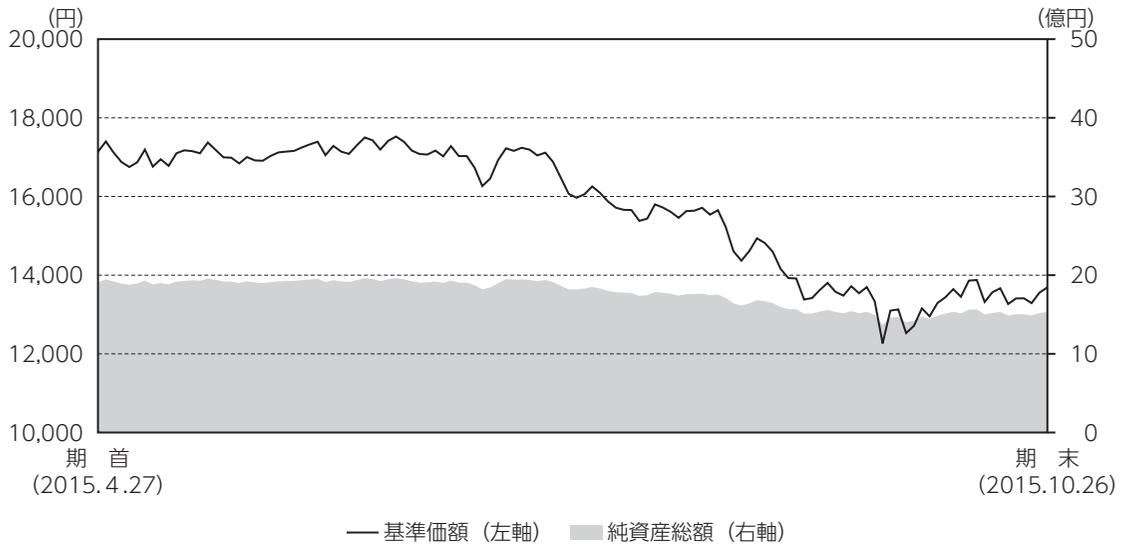
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

■基準価額・騰落率

期首：17,137円

期末：13,678円 (分配金10円)

騰落率：△20.1% (分配金込み)

■基準価額の主な変動要因

ブラジル・リアル建ての債券に投資した結果、債券価格が下落したことや為替相場が下落したことが要因となり、基準価額は値下がりしました。一方、債券の利息収入は安定的に基準価額の値上がり要因となりました。

ブラジル・ボンド・オープン（年2回決算型）

年 月 日	基 準 価 額		J P モルガン G B I - E M ブロード・ブラジル (円換算)	公 社 債 率	
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	組 入 比
(期首) 2015年 4月27日	円 17,137	% -	21,950	% -	% 97.9
4 月末	17,117	△ 0.1	21,970	0.1	98.5
5 月末	16,918	△ 1.3	21,731	△ 1.0	98.8
6 月末	17,067	△ 0.4	21,763	△ 0.9	98.8
7 月末	16,089	△ 6.1	20,616	△ 6.1	98.9
8 月末	14,818	△13.5	18,763	△14.5	99.6
9 月末	12,714	△25.8	15,642	△28.7	99.7
(期末) 2015年10月26日	13,688	△20.1	16,800	△23.5	98.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○ブラジル債券市況

ブラジル債券の金利は上昇（債券価格は下落）しました。2014年10月に、ブラジル中央銀行は金融政策委員会（Copom）において、インフレ懸念から政策金利の引上げを決定しましたが、その後も電力料金や公共交通機関の値上げやブラジル・レアルなどによりインフレ率の高止まりが続いたため、継続的に追加利上げを実施し、金利上昇要因となりました。また2015年1月以降は、財政再建法案が議会の反発を受け法案の成立が難航すると懸念されたことや大手石油会社ペトロブラスの汚職問題が金利上昇要因となりました。8月以降は、景気低迷が続く中で税収が想定以上に落ち込んだため基礎的財政収支の黒字目標値が下方修正されたことや、政府と議会との対立により追加増税法案の成立が遅延したことから財政懸念が高まり、金利上昇要因となりました。また、大手格付会社が相次いでブラジルの国債格付けを引下げたことも金利上昇要因となりました。

○為替相場

ブラジル・レアルは対円で下落しました。国内要因では、ペトロブラスをめぐる汚職事件が発覚し、検察当局の捜査対象が民間から政界へ波及する中、投資家心理が後退しました。また、中央銀行の利上げにもかかわらずインフレ率の高止まりが続く、景気低迷の継続が懸念されたほか、財政再建に対する不信感から格付けが引下げられたことも下落圧力となりました。国外要因では、米国の金融政策正常化に伴う新興国からの資本流出懸念や主要輸出相手国である中国経済の低迷などがレアルの下落圧力となりました。レアルの対米ドルレートは、2015年9月に1米ドル＝4レアルを割り込み急速に下落しました。年初より政府・中央銀行が為替介入規模を縮小していましたが、中央銀行はレアルの買い介入規模を拡大し、レアルを下支えしました。

前期における「今後の運用方針」

○当ファンド

「ブラジル・ボンド・マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・レアル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

○ブラジル・ボンド・マザーファンド

ブラジル国債の利回りは他の新興国に比べて高水準にあり、長期保有に適した魅力的な投資対象です。財政再建への取り組みは中長期的にブラジル債券の好材料であり、ブラジル・レアルの信認も高めると期待されます。当ファンドは金利リスクやインフレリスクに留意しながら、種別構成にも柔軟に調整しつつ、引続き投資妙味の高いブラジル国債を高位に組み入れて運用します。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「ブラジル・ボンド・マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・リアル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

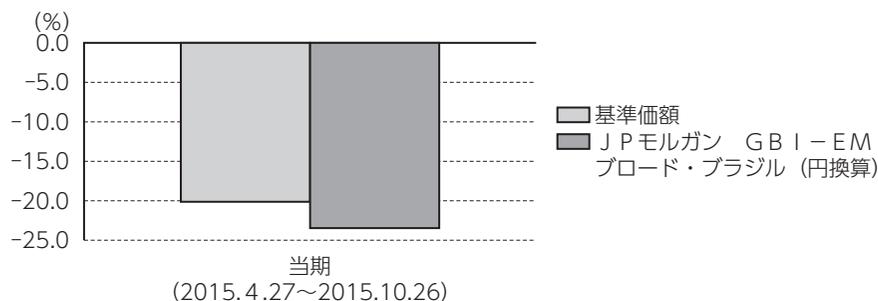
○ブラジル・ボンド・マザーファンド

債券ポートフォリオは、名目債（一般に割引債と利付債をいいます。）と物価連動債の双方からなるブラジル国債ポートフォリオで運用しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はブラジル債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当期の1万口当り分配金(税込み)は、10円といたしました。
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳(1万口当り)

項 目	当 期	
	2015年4月28日 ～2015年10月26日	
当期分配金(税込み)	(円)	10
対基準価額比率	(%)	0.07
当期の収益	(円)	10
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	12,445

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程(1万口当り)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	633.11円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	7,222.20
(d) 分配準備積立金	4,599.81
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	12,455.13
(f) 分配金	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	12,445.13

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「ブラジル・ボンド・マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・リアル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

○ブラジル・ボンド・マザーファンド

主として、ブラジル・リアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションについては、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	(2015.4.28~2015.10.26)		
	金 額	比 率	
信託報酬	113円	0.719%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は15,668円です。
（投信会社）	(49)	(0.312)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(60)	(0.385)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(3)	(0.021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	12	0.076	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(11)	(0.071)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	124	0.795	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年4月28日から2015年10月26日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ブラジル・ボンド・マザーファンド	73,293	130,580	80,144	139,087

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	□ 数	□ 数	□ 数
	千口	千口	千口	千口
ブラジル・ボンド・マザーファンド	1,014,560	1,007,709	1,536,353	1,536,353

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年10月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ブラジル・ボンド・マザーファンド	1,536,353	99.3
コール・ローン等、その他	11,205	0.7
投資信託財産総額	1,547,559	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月26日における邦貨換算レートは、1ブラジル・レアル=31.25円です。

(注3) ブラジル・ボンド・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(175,673,238千円)の投資信託財産総額(176,009,237千円)に対する比率は、99.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年10月26日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,547,559,059円
コール・ローン等	10,045,119
ブラジル・ボンド・マザーファンド(評価額)	1,536,353,940
未収入金	1,160,000
(B) 負債	16,013,488
未払収益分配金	1,119,743
未払解約金	2,146,028
未払信託報酬	12,676,848
その他未払費用	70,869
(C) 純資産総額(A - B)	1,531,545,571
元本	1,119,743,740
次期繰越損益金	411,801,831
(D) 受益権総口数	1,119,743,740口
1万口当り基準価額(C/D)	13,678円

* 期首における元本額は1,113,777,643円、当期中における追加設定元本額は133,529,044円、同解約元本額は127,562,947円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,678円です。

■損益の状況

当期 自2015年4月28日 至2015年10月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,575円
受取利息	1,575
(B) 有価証券売買損益	△358,487,308
売買益	17,678,766
売買損	△376,166,074
(C) 信託報酬等	△12,747,717
(D) 当期損益金(A + B + C)	△371,233,450
(E) 前期繰越損益金	182,875,736
(F) 追加信託差損益金	601,279,288
(配当等相当額)	(808,702,418)
(売買損益相当額)	(△207,423,130)
(G) 合計(D + E + F)	412,921,574
(H) 収益分配金	△1,119,743
次期繰越損益金(G + H)	411,801,831
追加信託差損益金	601,279,288
(配当等相当額)	(808,702,418)
(売買損益相当額)	(△207,423,130)
分配準備積立金	584,833,652
繰越損益金	△774,311,109

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表を参照。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	70,892,421円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	808,702,418
(d) 分配準備積立金	515,060,974
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,394,655,813
(f) 分配金	1,119,743
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,393,536,070
(h) 受益権総口数	1,119,743,740口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	10円

- <分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、10月26日現在の基準価額（1万口当り13,678円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《訂正のお知らせ》

作成対象期間の末日が2015年4月27日の交付運用報告書および運用報告書（全体版）につきまして、「1万口当りの費用の明細」の表の「項目の概要」における次の記載にて下線部が不要でした。お詫び申し上げますとともに、下線部を除いてお読み替えくださいますようお願い申し上げます。

「期中の平均基準価額（月末値の平均値）」は17,688円です。」

ブラジル・ボンド・マザーファンド

運用報告書 第14期 (決算日 2015年10月26日)

(計算期間 2015年4月28日～2015年10月26日)

ブラジル・ボンド・マザーファンドの第14期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	ブラジル・リアル建債券
運用方法	①主として、ブラジル・リアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②投資にあたっては、以下のような点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。 イ. 金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。 ロ. 固定利付債および割引債の組入比率の合計を、信託財産の純資産総額の50%程度以上とします。 ハ. 投資する債券は、政府、政府関係機関、国際機関等が発行するものとします。 ③外貨建資産の運用にあたっては、イタウ・ウニバンコ銀行の運用部門であるイタウ・アセットマネジメントの助言を受けます。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

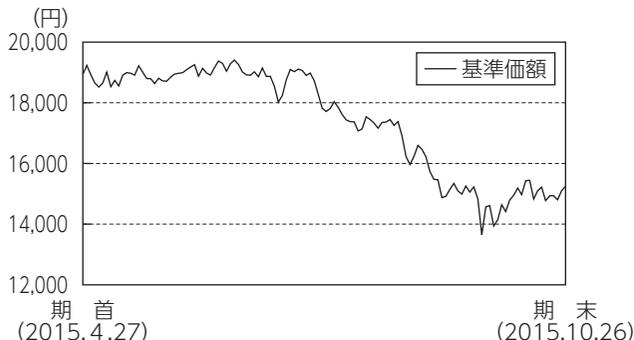
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基準価額		JPMorgan GBI-EM ブロード・ブラジル (円換算)		公社債 組入比率
	円	騰落率 (%)	騰落率 (参考指数)	騰落率 (%)	
(期首)2015年 4月27日	18,939	-	21,950	-	97.3
4月末	18,919	△ 0.1	21,970	0.1	98.6
5月末	18,720	△ 1.2	21,731	△ 1.0	98.8
6月末	18,908	△ 0.2	21,763	△ 0.9	98.7
7月末	17,851	△ 5.7	20,616	△ 6.1	98.7
8月末	16,464	△13.1	18,763	△14.5	99.4
9月末	14,148	△25.3	15,642	△28.7	99.4
(期末)2015年10月26日	15,246	△19.5	16,800	△23.5	98.2

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) JPMorgan GBI-EM ブロード・ブラジル (円換算) は、JPMorgan GBI-EM ブロード・ブラジル (ブラジル・レアルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan GBI-EM ブロード・ブラジル (ブラジル・レアルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：18,939円 期末：15,246円 騰落率：△19.5%

【基準価額の主な変動要因】

ブラジル・レアル建ての債券に投資した結果、債券価格が下落したことや為替相場が下落したことが要因となり、基準価額は値下がりしました。一方、債券の利息収入は安定的に基準価額の値上がり要因となりました。

◆投資環境について

○ブラジル債券市場

ブラジル債券の金利は上昇 (債券価格は下落) しました。2014年10月に、ブラジル中央銀行は金融政策委員会 (Copom) において、インフレ懸念から政策金利の引上げを決定しましたが、その後も電力料金や公共交通機関の値上げやブラジル・レアルなどに

よりインフレ率の高止まりが続いたため、継続的に追加利上げを実施し、金利上昇要因となりました。また2015年1月以降は、財政再建法案が議会の反発を受け法案の成立が難航すると懸念されたことや大手石油会社ペトロブラスの汚職問題が金利上昇要因となりました。8月以降は、景気低迷が続く中で税収が想定以上に落ち込んだため基礎的財政収支の黒字目標値が下方修正されたことや、政府と議会との対立により追加増税法案の成立が遅延したことから財政懸念が高まり、金利上昇要因となりました。また、大手格付会社が相次いでブラジルの国債格付けを下げたことも金利上昇要因となりました。

○為替相場

ブラジル・レアルは対円で下落しました。国内要因では、ペトロブラスをめぐる汚職事件が発覚し、検察当局の捜査対象が民間から政界へ波及する中、投資家心理が後退しました。また、中央銀行の利上げにもかかわらずインフレ率の高止まりが続く、景気低迷の継続が懸念されたほか、財政再建に対する不感から格付けが引下げられたことも下落圧力となりました。国外要因では、米国の金融政策正常化に伴う新興国からの資本流出懸念や主要輸出相手国である中国経済の低迷などがレアルの下落圧力となりました。レアルの対米ドルレートは、2015年9月に1米ドル=4レアルを割り込み急激に下落しました。年初より政府・中央銀行が為替介入規模を縮小していましたが、中央銀行はレアルの買い介入規模を拡大し、レアルを下支えました。

◆前期における「今後の運用方針」

ブラジル国債の利回りは他の新興国に比べて高水準にあり、長期保有に適した魅力的な投資対象です。財政再建への取り組みは中長期的にブラジル債券の好材料であり、ブラジル・レアルの信認も高めると期待されます。当ファンドは金利リスクやインフレリスクに留意しながら、種別構成にも柔軟に調整しつつ、引続き投資妙味の高いブラジル国債を高位に組入れて運用します。

◆ポートフォリオについて

債券ポートフォリオは、名目債 (一般に割引債と利付債をいいます) と物価連動債の双方からなるブラジル国債ポートフォリオで運用しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。参考指数はブラジル債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

主として、ブラジル・レアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションについては、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	一円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	12 (12)
合 計	12

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況
公 社 債

(2015年4月28日から2015年10月26日まで)

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジル・リアル 2,862,385	千ブラジル・リアル 3,992,365 (—)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄
公 社 債

(2015年4月28日から2015年10月26日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄 金 額	銘	柄 金 額
	千円		千円
Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル) 6% 2016/8/15	21,640,080	Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル) 2016/1/1	75,213,936
Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル) 2019/1/1	17,569,571	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F (ブラジル) 10% 2025/1/1	24,585,550
Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル) 2017/1/1	15,725,496	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル) 6% 2016/8/15	17,023,925
Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル) 2018/1/1	14,936,960	Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル) 2015/7/1	5,864,224
Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル) 2018/7/1	13,089,973	Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル) 2018/1/1	3,967,611
Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル) 2017/7/1	11,299,012	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル) 6% 2018/8/15	2,951,154
Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル) 2016/1/1	1,466,408	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル) 6% 2017/5/15	2,279,265
Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル) 6% 2055/5/15	524,797	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル) 6% 2024/8/15	2,043,764
		Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル) 6% 2020/8/15	1,519,739
		Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル) 2016/7/1	509,626

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

ブラジル・ボンド・マザーファンド

■組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

作成期 区分	当 額面金額	期			未			
		評価額		組入比率	うちB B格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ブラジル	千ブラジル・レアル 5,082,500	千ブラジル・レアル 5,516,728	千円 172,397,778	% 98.2	% -	% 9.2	% 27.4	% 61.6

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区分	銘柄	種類	年利率	額面金額	評価額		償還年月日	
					期			未
					外貨建金額	邦貨換算金額		
ブラジル	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国債証券	6.0000	千ブラジル・レアル 633,000	千ブラジル・レアル 1,722,342	千円 53,823,198	2016/08/15	
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国債証券	6.0000	50,000	120,063	3,751,984	2030/08/15	
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国債証券	6.0000	45,000	104,602	3,268,814	2040/08/15	
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国債証券	6.0000	50,000	114,757	3,586,156	2045/05/15	
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国債証券	6.0000	30,000	70,621	2,206,912	2035/05/15	
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国債証券	6.0000	6,000	13,771	430,372	2050/08/15	
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国債証券	6.0000	28,000	74,569	2,330,282	2018/08/15	
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	-	234,000	228,250	7,132,831	2016/01/01	
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	-	661,000	601,397	18,793,675	2016/07/01	
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	-	620,000	523,937	16,373,037	2017/01/01	
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	-	490,000	384,081	12,002,550	2017/07/01	
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	国債証券	10.0000	33,500	24,519	766,249	2025/01/01	
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	-	771,000	560,347	17,510,855	2018/01/01	
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	-	560,000	377,288	11,790,275	2018/07/01	
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国債証券	6.0000	31,000	71,313	2,228,531	2055/05/15	
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	-	840,000	524,865	16,402,050	2019/01/01	
合計	銘柄数 金額	16銘柄		5,082,500	5,516,728	172,397,778		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年10月26日現在

項目	当期		未
	評価額	比率	
公社債	千円 172,397,778	% 97.9	
コール・ローン等、その他	3,611,459	2.1	
投資信託財産総額	176,009,237	100.0	

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月26日における邦貨換算レートは、1ブラジル・レアル=31.25円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産（175,673,238千円）の投資信託財産総額（176,009,237千円）に対する比率は、99.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年10月26日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	178,167,577,609円
コール・ローン等	168,175,607
公社債(評価額)	172,397,778,438
未収入金	4,449,413,465
未収利息	1,149,798,233
前払費用	2,411,866
(B) 負債	2,575,552,000
未払金	2,168,750,000
未払解約金	406,802,000
(C) 純資産総額(A - B)	175,592,025,609
元本	115,174,165,770
次期繰越損益金	60,417,859,839
(D) 受益権総口数	115,174,165,770口
1万口当り基準価額(C/D)	15,246円

* 期首における元本額は142,149,213,319円、当期中における追加設定元本額は150,199,208円、同解約元本額は27,125,246,757円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)114,116,820,708円、ブラジル・ボンド・オープン(年2回決算型)1,007,709,524円、ブラジル・ボンド・オープン(年1回決算型)49,635,538円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は15,246円です。

■損益の状況

当期 自2015年4月28日 至2015年10月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	9,334,490,772円
受取利息	9,334,490,772
(B) 有価証券売買損益	△ 55,576,658,608
売買益	3,776,700,281
売買損	△ 59,353,358,889
(C) その他費用	△ 156,482,127
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 46,398,649,963
(E) 前期繰越損益金	127,068,026,453
(F) 解約差損益金	△ 20,375,173,443
(G) 追加信託差損益金	123,656,792
(H) 合計(D + E + F + G)	60,417,859,839
次期繰越損益金(H)	60,417,859,839

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。